

「離れていても

想いをつなげる」

施設長 中島真樹

一月七日、再び緊急事態宣言が発出されました。皆さまのご協力と励ましにより、感染から守られており感謝しています。引き続き職員一丸となって何としても防いでいきたいと思えます。

この冬、クリスマス会や新年会の各イベントにご家族をお招きできずとも残念でした。次回こそはご家族と過ごせるようにと願っています。少しでも共有できればと思います。イベント当日の写真をパワード付きでホームページに載せていきますのでぜひご覧ください。Zoomによるオンライン面会も可能です。遠慮なく連絡をください。離れていても想いをつなげる機会を保っていききたいと思えます。



(写真はお隣り練馬工業高校とのオンライン授業の様子)

「喫茶ナース」



十二月のとある日の昼下がり、二階の片隅に「喫茶 Que sera sera」が一日限りのお店としてオープンしました！

古きよき時代「昭和」をイメージしたレトロな空間とメニュー。「昔から二度経験してみたかった」と語っていた白澤看護師が念願のウェイトレス姿となり笑顔でご利用者をおもてなし。水口看護師力作のクリームソーダを皆さん嬉しそうに召し上がっていました。

二〇二〇年は我慢の年でしたのでご利用者方に少しでも楽しい気分になっていただきたく、と医務で企画しましたが、職員の皆様のご協力もありたくさんの笑顔パワーをチャージすることができました。

二〇二一年も笑顔で困難を吹き飛ばし穏やかな日常が戻ることを心待ちにしたいと思います。

Que sera sera 看護師・高嶋香菜子



「準夜勤者紹介」

現在、新人からベテランまで三名の準夜勤者が活躍しています。皆様よろしくお願い致します。



今年度6月から入社した準夜勤職員の横井歩です。主に排泄介助、体調管理のサポートをさせて頂いています。利用者各々の気持ちに寄り添えるよう、これからも励んでいきたいと思えます。

12月より準夜勤として入社しました。杉本拓子(すぎもとひろこ)と申します。介護の仕事は経験がありませんが、職員の皆様に教えて頂きながら一日も早く利用者の皆様のお役に立てよう努めて参ります。どうぞ宜しくお願い致します。



準夜勤職員として、こちらでお世話になって8年になる福原正人です。コロナ過の状況下ですが、利用者様と良い関係が築けるように努めて参ります。

●●●今後の予定●●●

- ▽ 節分 二月
- ▽ ひな祭り 三月

医務室

新たな年が始まりましたが、コロナの勢いは収まらず、遂には、二度目の緊急事態宣言となり、キングスでは静かな幕開けとなりました。

例年この時期に流行する「インフルエンザ」や「ノロウイルス」は、新たな生活様式のおかげか影を潜めており、ご利用者の皆様の健康は、いまだ守られています。

先日、新成人となった職員が晴れ姿を披露して下さいました。振袖姿を見て、笑ったり泣いたり、それはとても賑やかなひと時となりました。

我慢の時間がまだ続きますが、日常の中に楽しみを見つけ、笑顔のパワーで免疫力をアップしていきたいと思えます。少しでも早くこの困難が終息し、ご家族様と元気に再会できることを祈っています。

☆編集後記☆

少々遅めの十二月号です。コロナ過で大変ですが、今後も皆様の元気な様子を記事に出来るよう頑張ります。(編集 原口)